

令和7年度第1回新居浜市広報委員会会議録

日 時 : 令和7年5月29日(木) 14:00～15:00
場 所 : 新居浜市役所5階 53会議室
出席委員 : 吉岡奈津子会長、久持信委員、石川千凡委員、石川徹委員、桑原和也委員、中島あずさ委員、菅洋平委員、松本佳奈委員、岡龍聖委員、鈴木亜希子委員、古川友三委員、宮脇立志委員(計12名)
事務局 : 青野副課長、白川係長、野口主任、高須賀主事(計4名)

1 開会

2 会長挨拶

広報委員会は、一昨年度から紙媒体の市政だよりだけでなく、SNS等のデジタル媒体についても皆さんから広く意見をいただいております。今年度秋からテレビ放送を使いまして、市政広報番組を配信予定としております。テレビ放送につきましては、毎週5分程度の番組を予定しており、定期的でタイムリーな情報をお届けできるということで、番組の作成も実施予定です。シティプロモーション推進課では、様々な媒体を用いて市民の皆様に市政に関心を持ってもらうのと同時に市の情報発信をわかりやすくお伝えすることを目指して市の広報を行っております。

ぜひこの広報委員会では、皆さんに忌憚のないご意見を皆さんにお伺いできればと思いますのでよろしくお願いいたします。年4回開催予定で今回は1回目ですので、本日はよろしくお願いいたします。

3 自己紹介

省略

4 議題

(1) 副会長の選任について

- ・推薦者なしにつき、事前に依頼していた菅洋平委員に決定。

(2) 新居浜市の広報ツールについて

- ・市政だより「にいはま」について(白川係長)
- ・SNSを使った市公式広報ツールの紹介(高須賀主事)

（３）新居浜市の広報について意見交換

事前に新居浜市の広報について良い点、提案・改善点についてアンケートをとり、まとめたものを５分程度各自で読んだ後、提案や改善点等について全員が順番に発表する。

・市政だよりの表紙が横向きの時に、いつも反対向きで開いてしまう。そうならない工夫ができればと思う。市政だよりの後半は情報がたくさん詰まっているうえに、２色刷りページなので、少し見づらい気がする。紙媒体より、特に HP から見る時に感じる。自分自身もイベント情報を探しているので、お役立ちカレンダーにはもっとイベントを掲載してほしい。

・「お役立ちカレンダー」は、主に市民課・健康関連の情報が掲載されているが、「百縁笑点街&さんさん産直市」は毎月掲載されており、掲載のルールが不明。（紙面の都合上、他のページで毎月掲載するのが難しい案件を掲載している？）生活に役立つ内容であれば、“出張健康相談”のように紙面内の別ページに記載のイベントや講座のカレンダーへの掲載を増やしてもよいのでは。イベント情報のほうが知りたい。

・HPの「カレンダーでさがす」について、イベントではない情報が掲載されていたり、掲載すべきイベントが掲載されていなかったりしているため、運用方針を統一したほうが良いと思われる。

⇒今年度の課題として、勉強会を開催するなど改善していく。

・表紙が横向きの時に、いつも反対向きで開いてしまうことに共感する人がいたのでよかった。広報委員会で出た意見を聞いてぜひ改善してほしい。

・図書館では、特に高齢の方が市政だよりを欲している。情報として楽しみにしている人が多い。SNSが情報発信の主流になっているが紙媒体も侮れない。SNSでの発信は、どこにどう情報発信していいのかわからない。業務の片手間でSNSの発信を行っているので、皆さんどのようにしているか聞きたい。

・HPのレイアウトについて、「トピックス」⇒「おすすめ情報」⇒「お知らせ」の順になっているが、内容の更新頻度は「お知らせ」が一番多い。特定の記事を読覧するために訪れる人は良いが、HP閲覧者を新着記事に誘導するのなら、「おしらせ」を「新着情報」として一番上に持ってくると、記事の閲覧数が増えるのではないかな。

・より親近感のある投稿で、インスタの消防隊のリール動画の再生回数が多。そこから新居浜市へ興味を持ってくれることもある。また、飲食店の紹介も良いと思う。

・この会は市職員や広報に関係する人の会なのか、市民の声を聞く会ではないのか。

⇒市民の方々にも参加していただきご意見を聞きたい為、毎年公募しているが集まらない。

・自治会経由でお願いしている配布方法で、各区長へ分割配達している物を、各自治会館へ宅配ボックスを配置して、一括配達とするのが合理的。今は、分割配達された物を自治会館に持ち寄り、役員が各区・組毎に再仕分け、配布している。より多くの人に配布することが大切である。

⇒校区によって配達方法が異なっている。垣生公民館だと、公民館内にボックスを設けているところもある。最初、自治会館に送っていたが、自治会から分けてほしいとの要望があり配布方法は統一されていない。

・広報誌は多くの市民の目に留めてもらうことが第一で、多岐に渡る内容の市政だよりの主要項目（目次とは別に）の抄録を、表紙か裏表紙に掲載することで、読者が個々の必要とする記事を手早く探すことが出来るようにすれば、少なくとも興味、関心のある項目に目を通す読者が増えるのではないかな。

・特集記事はマンネリ化、目を引く物が少ない。興味を引くような内容をお願いしたい。あまりに市政の内容が多い。市民の安全・保安・健康を守る消防、警察、福祉保健当局の重要な啓蒙情報、学校教育、選挙情報、ボランティア活動情報、高齢者クラブ活動情報などの充実。（興味をそそり、楽しみが沸き、為になる情報…）

市が一方向的に広報するのではない。見てくれる人、興味ある内容を増やす。自分達の仕事を一方向的に広報するのではない。子どもなど若い世代の見てくれる人を育てる。そうしないと紙の広報誌は廃れる。

⇒広報委員会では、このようなご意見をいただくことが重要である。

・市庁舎内に待ち時間の間に目を止められる広報用電光掲示版の設置。待ち時間に市政だよりの内容を一部紹介する。

・LINEは通知が多ければ多いほど（少なくとも私は）見なくなってしまうので、発信の回数はより少ないほうが望ましいのではないかなと思う。同じように感じる人は多い。フォロワーの中には実際には見ていない人も多いと思われる。

・市政だよりの配布方法の見直しについて、具体的にはどのようなことを考えているか。

⇒現状は、連合自治会を通して配布してもらっているが、例えばフリーペーパーと一緒に配布するなど検討している。

- ・Tiktok の活用について、旅行に行った時など、飲食店やイベントを調べる際は、Tiktok で調べているのもっと活用すれば良い。流行りに載った投稿のほうが、親近感もわいて見てもらいやすい。

- ・市政だよりは、情報も多いが家に届かない。フリーペーパーと一緒に配るのは良いと思う。『ここまち』『マイタウン』『ホージャ』は、隅々まで見たくなる。市政だよりも飲食店の紹介など、1 ページでも好きなページがあれば見るのではないか。新居浜の影響のある SNS 発信者に新居浜市から広報を依頼してはどうか。

- ・新居浜市は、太鼓台の掲載が多いので土産品や飲食店情報も掲載してはどうか。HP の更新頻度をあげる。よそから来た人にも興味を持ってもらえるような内容がもっとあれば良い。

- ・これを機に新居浜市内の各郵便局に市政だよりを置いてはどうか。

- ・西条市の市政だよりは、業者が配布している。自治会の会員数が減っている中、配布方法は考えた方が良い。図書館など市政だよりの需要がある所にもっと多く設置してはどうか。

(4) 連絡事項

事務局： 最後に次回の広報委員会についてご案内いたします。第2回の広報委員会は、8月28日(木)14時から開催する予定です。また日程が近づきましたら、ご案内させていただきます。

5 閉会